

CADPAC-NT 3D
New Technology

CADPAC-NT 3D
Ver.3.2 - リリースノート

株式会社 デザイン・クリエーション

- CADPAC-NT 3D Ver.3.2 概要 3
- スマートフィーチャ選択の改良 4
- パートプリッタウィンドウ:材質の強化 5
- DXF/DWG書き出しファイルタイプ 8
- IFCファイル変換の改良 9
- KXLをマクロに変更 10
- ステータスバーの改良 11
- 比較機能の削除 12
- 冗長なフェイスツールアイコンの削除 13
- 外部変換対応バージョン表 14

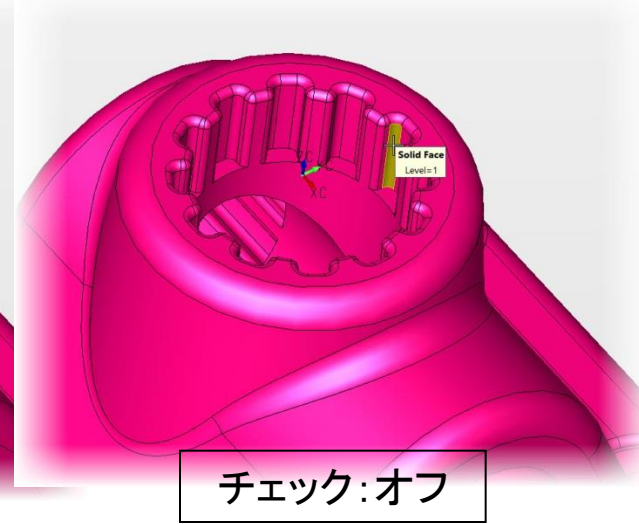
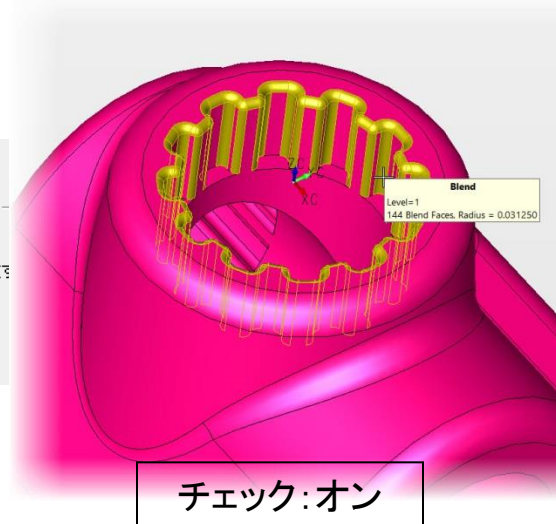
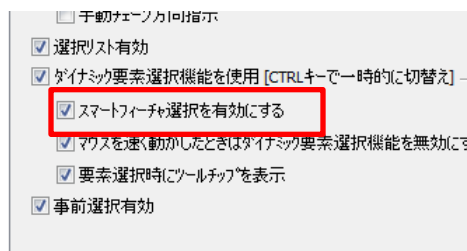
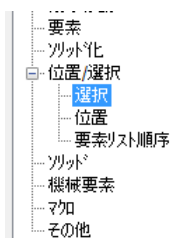
• CADPAC-NT 3D Ver.3.2 概要

- 初期設定では CADPAC-NT 3D Ver.3.2 をインストールすると、以下のフォルダが作成されます
 - C:¥CADPAC¥NT3D¥3D64.320 - 64 bit バージョン

スマートフィーチャ選択の改良

● 選択にスマートフィーチャ選択を有効にするオプションを追加

- ツール:オプション:位置/選択:選択にスマートフィーチャ選択を有効にするオプションを追加しました。デフォルトはオンです
- 常にオンの場合、データ量が多いモデルで混乱とパフォーマンスの問題が発生する場合があるので、オン/オフの切り替えを可能にしました

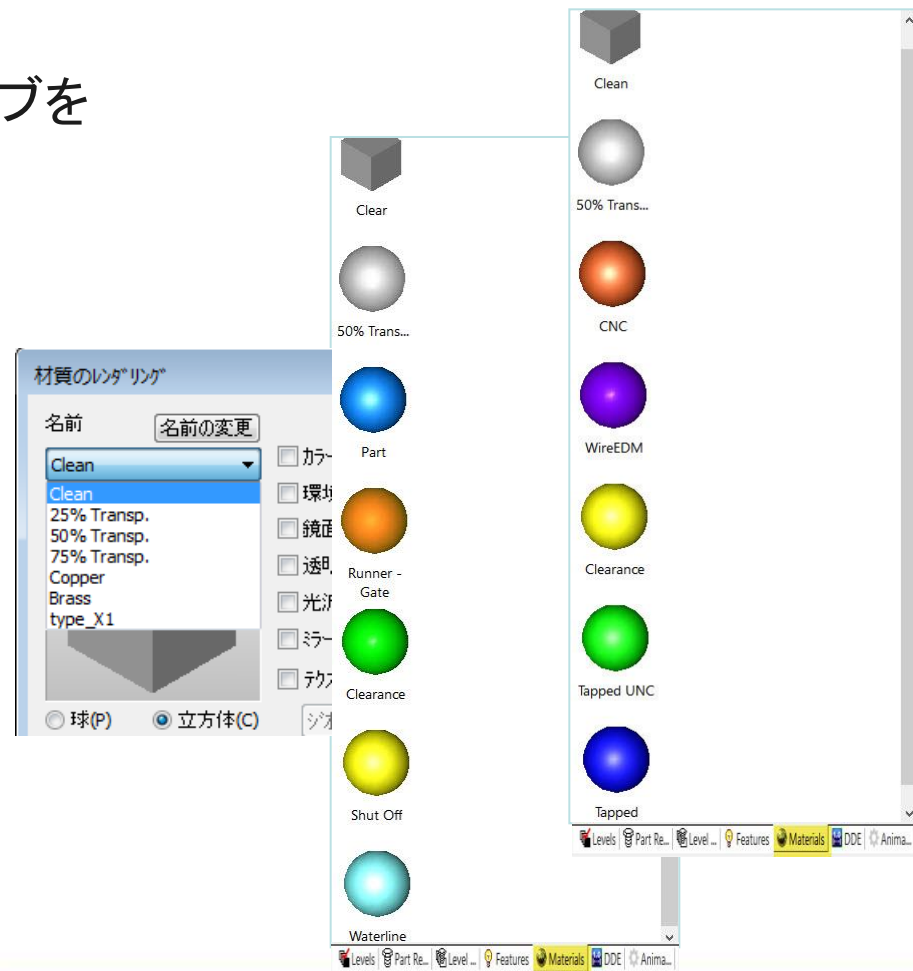


- オフにすると、以前の動作に戻ります

パートスプリッターウィンドウ材質の強化

● パートスプリッターウィンドウの材質タブを強化・変更

- RGBフェイスカラーがワークフローにおいて重要な意味を持つことがあるので、パートスプリッターウィンドウの[材質]タブを強化・変更しました
- 材質のRGBカラーを社内標準に沿って定義・保存して、他のユーザに提供できます



パートスプリッターウィンドウ材質の強化(続き)

- 右ボタンメニューを強化

• 新規

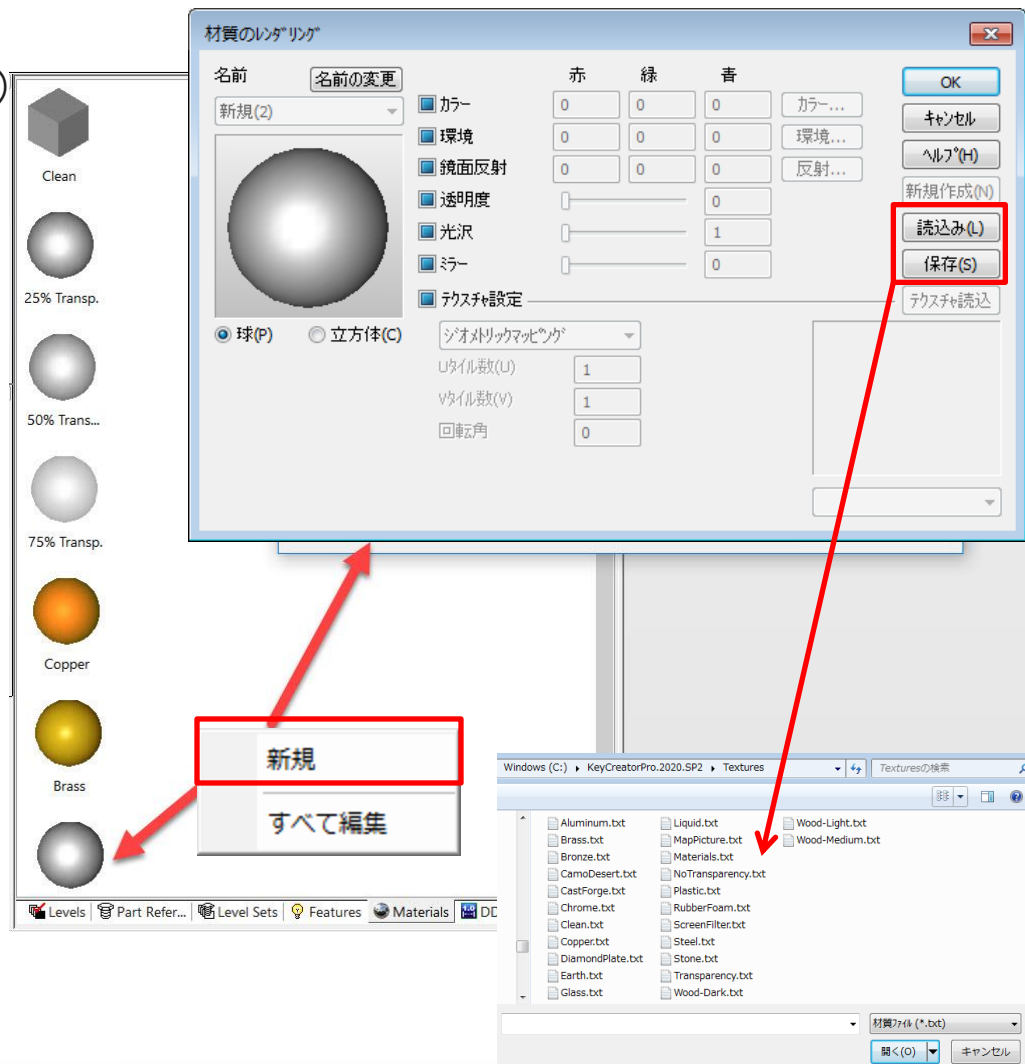
(タブ内で右ボタンクリック、
または新規アイコンをダブルクリック)

新しいアイコンを作成し、
編集ダイアログに直接移動します

- ダイアログでは、新しい色や
テクスチャなどを定義できます

- 保存:
保存すると、個別のマテリアル
テキストファイルを作成できます

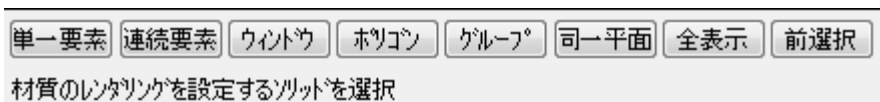
- 読み込み:
既存のマテリアルテキスト
ファイルをロードします



パートスプリッターウィンドウ材質の強化(続き)

- 材質アイコン上で右ボタンメニュー: 選択をクリックすると、コンバーションバーに要素選択メニューが表示されます。

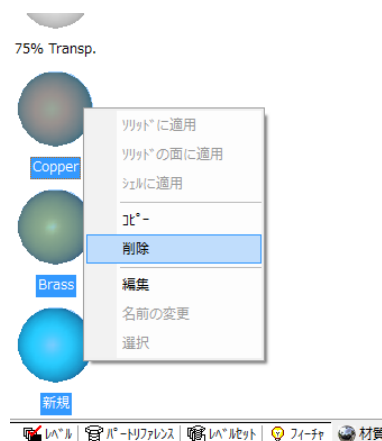
- 適用するソリッドを指示します



- 材質のアイコンを適用するソリッドなどにドラッグ&ドロップしても同様の結果を得られます

- アイコンの複数選択削除

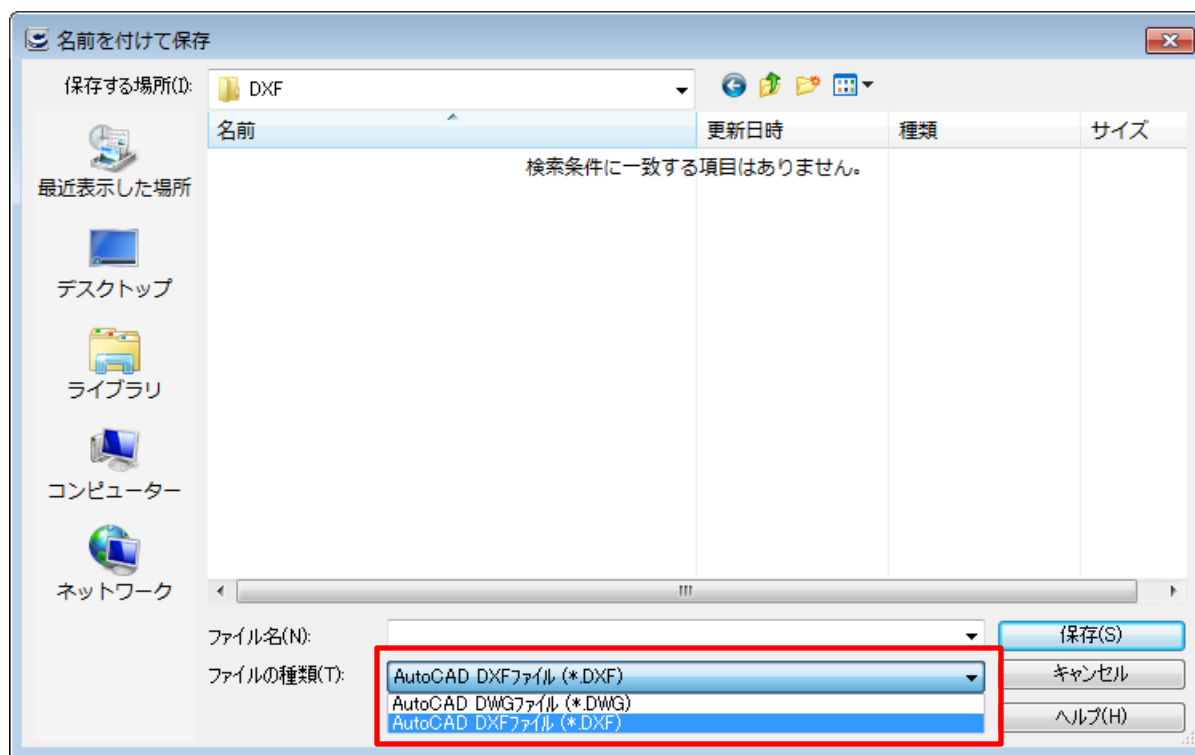
- <Shift>キー、<ctrl> キーまたはウィンドウで複数選択できます。



DXF/DWG 書き出しファイルタイプ

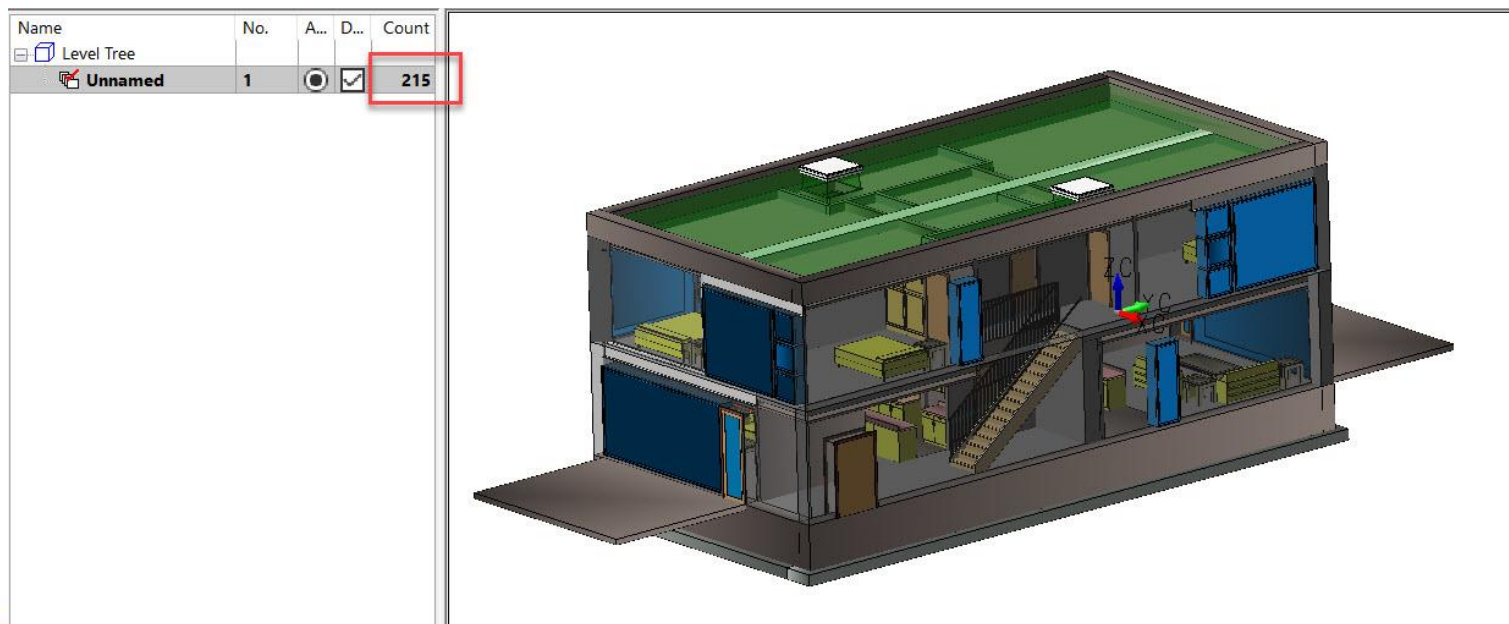
- 最後にいったDXF / DWG書き出しのファイルタイプを記憶

- よく使用するファイルタイプを毎回選択する必要がなくなりました



IFCファイル変換の改良

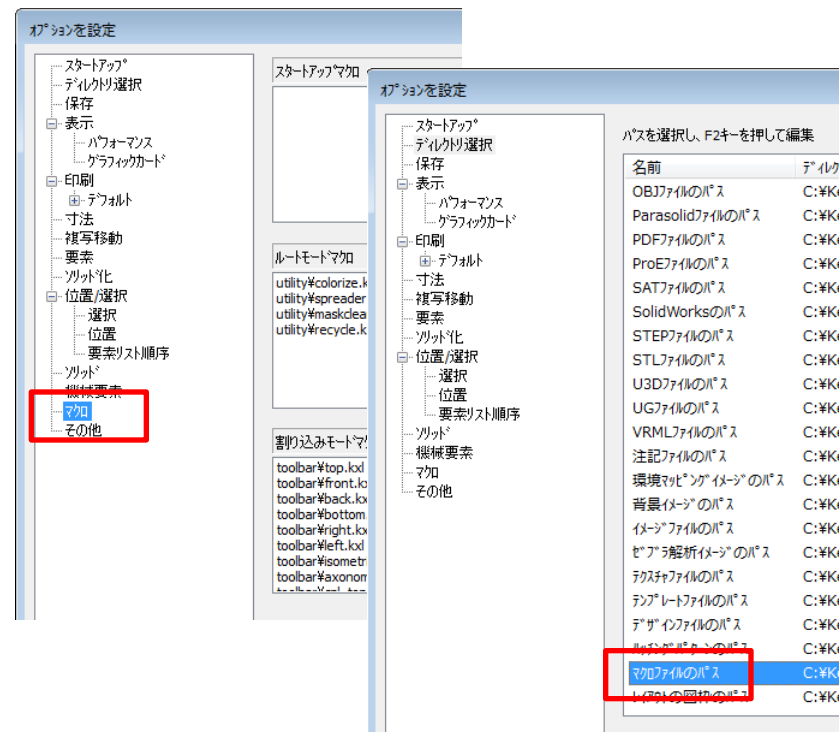
- **IFC読み込みで、アセンブリを単一のファイルに読み込むようになりました**
 - 図形要素はパトリファレンスではなく、常にレベルで管理されるように変換されます
 - IFCコンバータは製品タイプが「Global Ex」での提供になります



KXLをマクロに変更

すべての「KXL」を「マクロ」に変更しました

- ツール:オプションのページ、拡張機能のプルダウンメニューのKXLがマクロに変更されました
- 機能に変更はありません



ステータスバーの改良

- ステータスバー全体で一貫した表示が維持されるようになりました

- 分数表示の一貫性 小数点以下の位の統一
- ラベルの変更

活性レベル=1 | S = 0.61663 | XC: 89.7350 | YC: -139.7262 | ZC: 0.0000 | CP=DV | DV=1 | mm | t°1- | Zリ- | D = 0 | 位置スナップ° | REC |



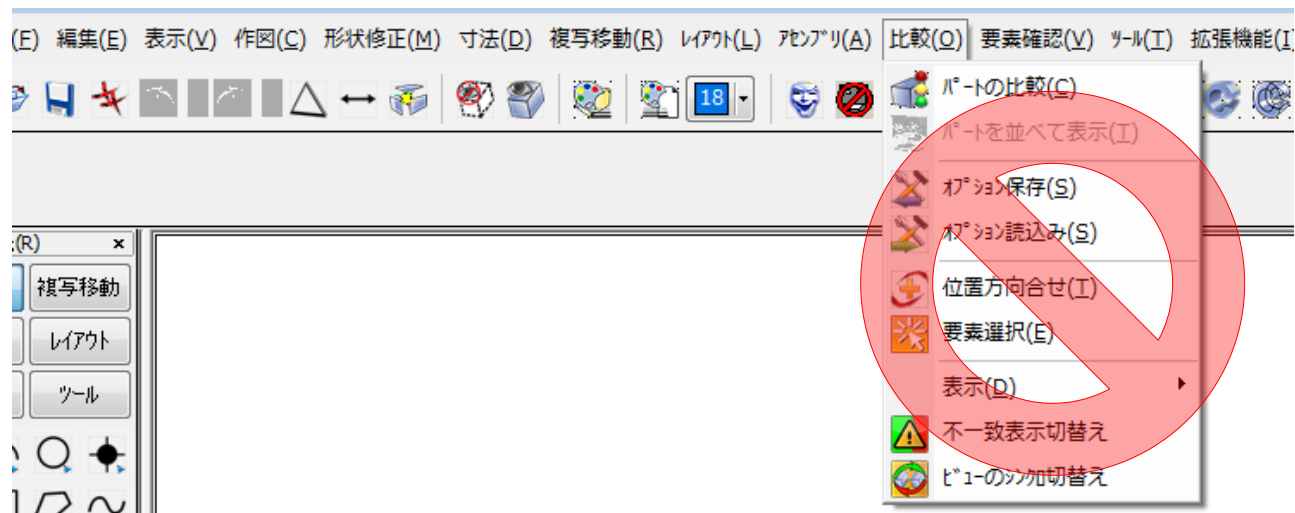
2020SP1

活性レベル=1 | S=0.6070 | XC=195.9384 | YC=195.7532 | ZC=0.0000 | CP=DV | DV=1 | mm | t°1- | Zリ- | D=0.0000 | 位置スナップ° | REC |

2020SP2

比較機能の削除

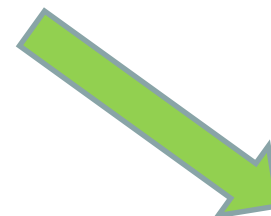
- 関連するファイルを含むすべての比較機能は削除されました
 - メニューバーから「比較」が削除されました
 - 新しいテクノロジーを採用した新製品 K-Compare をリリースしました



冗長なフェイスツールアイコンの削除

- ソリッド/サーフェスアプリケーションメニューのツール:フェイスツールサブメニューから2つの冗長なアイコンを削除

- 物理プロパティアイコンを削除
 - 編集:要素:プロパティを利用
- テクスチャ変更アイコンを削除
 - スプリッタウィンドウの材質タブを利用
- 同機能は他のコマンドで利用できます



• CADPAC-NT 3D Ver.3.2 データ変換の対応Ver.

ファイル形式	データ変換	サポートバージョン	アセンブリファイル
ACIS	読み込み	1.5 - R25, R2016 - R2020	NO
	書き出し	1.5 - R25, R2016 - R2020	NO
DWG/DXF	読み込み	2018までの全バージョン	NO
	書き出し	R12 - R14, 2000/2002, 2004 - 2018	NO
IGES Geometry	読み込み	5.3まで	YES
	書き出し	5.3	YES
STEP	読み込み & 書き出し	AP203, AP214	YES
Parasolid	読み込み	10.0 - 32.0	YES
	書き出し	12.0 - 32.0	YES
Solidworks	読み込み(Geometry)	98 - 2020	YES
	読み込み(Drawing)	99 - 2020	N/A
	PMI ^{*1}	97 - 2020	—
Autodesk Inventor	読み込み	Part Files: 6 - 11, 2008 - 2020	—
		Assembly Files: 11, 2008 - 2020	YES
CATIA V4	読み込み(Geometry)	4.1.9 - 4.2.4	NO
	書き出し(Geometry)	4.1.9 - 4.2.4	NO
	読み込み(Drawing)	4.1.5 - 4.2.4	N/A
	PMI	4.2.5まで	—

***1**

PMIのサポートは現在visual PMIのみに限定されています
 Dim Xpert モジュールで作成されたPMIは現在、バージョン2014以降でサポートされています
 PMIのサポートはSolidWorks eDrawingsでのPMIサポートと同等です

＜次ページへ続く＞

• CADPAC-NT 3D Ver.3.2 データ変換の対応Ver.

ファイル形式	データ変換	サポートバージョン	アセンブリファイル
CATIA V5	読み込み(Geometry)	V5 R8- V5 R30 ^{*2}	YES
	書出し(Geometry)	V5 R15 - V5 R30 ^{*2}	YES
	読み込み(Drawing)	V5 R7 - V5 R30^{*2}	N/A
	PMI	V5 R4 - V5 R29 ^{*2}	—
PTC Creo (Pro/E)	読み込み(Geometry)	Pro/E16 - 2001, Wildfire 1 - 5, Creo 1.0 - 6.0	YES
	読み込み(Drawing)	Pro/E2000i - 2001, Wildfire 1 - 5, Creo 1.0 - 6.0	N/A
	PMI	Wildfire 5まで, Creo 1.0 - 6.0	—
Siemens / NX	読み込み(Geometry)	11 - 18, NX 1 - 12, 1899	YES
	読み込み(Drawing)	NX 1 - 12, NX1899シリーズ(NX1907まで)	N/A
	PMI	Siemens V11からNX12, 1899	—
JT	読み込み(Geometry)	8.x, 9.x, 10, 10.2, 10.3, 10.5	
Solid Edge	読み込み(Geometry)	V18(2006) - 2020	YES

***2 CATIA V5の注意**

V5 R30は、V5-6 R2020 または R2020x として知られています
V5 R29は、V5-6 R2019 または R2019x として知られています